

(一般則第7条関係・外部供給式圧縮天然ガススタンド)

1. 事業所概要

事業所名称								
事業所所在地		〒						
許可年月日・番号		年 月 日			第 号			
処理能力		Nm ³ / 日						
製造槽	貯容量 焼とん	No.1 有 無		No.2 有 無		No.3 有 無		
		年 月		年 月		年 月		
	開放検査	年 月		年 月		年 月		
設備	処理設備	名 称						
	処理能力	Nm ³ / 日		Nm ³ / 日		Nm ³ / 日		
	開放検査	年 月		年 月		年 月		
保安検査	年 月 日 氏名			印 氏名			印	
協会指導	年 月 日 氏名			印 氏名			印	
立会者	保安検査	氏名		印	協会指導	氏名		印

2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R 年 月 日 認可・届出 有・無			
保安教育計画	保安教育計画書	S・H・R 年 月 日 有・無		
	今年度の策定状況	有・無 適・否		
定期自主検査	自 年 月 日 実施者			
	至 年 月 日			
申請書類等の整備	適・否	日常点検	適・否	
基準類の整備状況	適・否	受払記録	適・否	
設備台帳補修記録	適・否	充填記録	適・否	
保安教育実施記録	有・無			
防災訓練実施記録	有・無	実施日	年 月 日	

3. 保安管理組織

保安監督者	氏名 :
	資格 :

* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

4. 圧縮天然ガススタンドに係る技術基準(一般則第7条2項関係)

ガス名 CNG

(1) 製造設備等

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1. 境界線 警戒標	目 視	製造事業所 境界線の明示：有・無 警戒標の設置：有・無	適 不適	第6条1項1号 例示基準1
2. 設備距離	測 定 目 視	高圧ガス設備外面から敷地境界までの距離 法定： 6 m 実測： m 障壁： 有(構造：)・無	適 不適	第7条2項2号 例示基準56
3. 貯槽間距 離(3t以上の 可燃性ガス)	目 視 試 験	1m又は最大直径の和の1/4以上 法定： m 実測 m 水噴霧装置：毎分7 or 8 L/m ² L/m ²	適 不適	第6条1項5号 例示基準3
4. 貯槽の 表 示	目 視	ガス名の朱書き：有・無	適 不適	第6条1項6号 例示基準4
5. 地盤面下 の高圧ガス 設備の室	目 視 記 録	換気装置：有 無 換気能力：法定700m ³ /h以上かつ0.5m ³ /min以上 実測	適 不適	第7条2項3号 例示基準57
6. 防火壁	測 定 目 視	高圧ガス設備と敷地境界との間の防火壁 高さ：法定 2 m 実測 m	適 不適	第7条2項5号
7. 外部供給 配 管	目 視 試 験	緊急時の遮断措置の種類： 作動試験記録：有(年 月)・無	適 不適	第7条2項6号
8. 圧縮機の 保安措置	目 視 試 験	爆発、漏えい、損傷防止措置 作動試験記録：有(年 月)・無	適 不適	第7条2項7号 例示基準58
9. 貯槽配管	目 視 記 録	自動閉止のための遮断措置 作動試験記録：有(年 月)・無	適 不適	第7条2項8号
10. 配管の 設置位置	目 視	設置状況：適・否 トレンチの場合の蓋の通気性：適・否	適 不適	第7条2項10号
11. ガス漏洩 検知警報 装 置	目 視 試 験 記 録	個 数： 点 月例点検：有・無 作動状況：テストガス濃度 % 応答時間：秒 ~ 秒 運転停止措置：適・否	適 不適	第7条2項11号 例示基準23
12. 感震停止 装 置	目 視 試 験 記 録	個 数： 点 設定地震加速度： gal 月 例 点 檢：有・無 作 動 状 況：適・否	適 不適	第7条2項12号
13. 自動停止 装 置 等	目 視 試 験	起動装置設置状況等：適・否 作動状況：適・否	適 不適	第7条2項13号 第7条2項14号
14. 車両衝突 防止措置	目 視	ガス設備は、車両が衝突するおそれのない場所に設置すること。	適 不適	第7条2項15号

ガス名 CNG

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
15. 火気取扱場所	目視試験記録	火気取扱い施設までの距離 : 法定 4 m 実測 m 流動防止措置等 : 有・無	適 不適	第7条2項18号 例示基準2
16. 設備間距離	測定目視	他の可燃性ガス製造設備まで: 法定 5 m 実測 m 酸素の製造設備まで: 法定10m 実測 m	適 不適	第7条2項20号
17. 消火設備	目視記録	消火器の設置個数 : B - × 個 定期点検 : 有・無	適 不適	第7条2項21号 例示基準31
18. 滞留防止措置	目視記録	2方向以上の開口部又は換気装置 有・無	適 不適	第6条1項9号 例示基準6
19. 気密構造	目視試験記録	・可燃性ガス、毒性ガス、酸素のガス設備は気密な構造であること ・製造設備は常用以上の圧力で漏えいしない	適	第6条1項10号
20. 気密試験	目視試験記録	試験圧力 : MPa 使用ガス名 :	不適	第6条1項12号 例示基準7
21. 耐圧試験	目視試験記録	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 非破壊検査(肉厚計測除く)の実施記録 年月	適 不適	第6条1項11号 例示基準7
22. 肉厚計測	計測記録	記録の保存 : 有・無 計測年月日 : 年月日	適 不適	第6条1項13号 例示基準8
23. 材料規制	記録	例示基準第9号で定める材料を使用していないこと。	適 不適	第6条1項14号 例示基準9
24. 基礎の緊結	目視記録	貯槽(1t以上)の支柱は同一の基礎に緊結すること。	適 不適	第6条1項15号 例示基準10
25. 不同沈下	目視記録	毎年1回以上測定し、その記録を保管する。 計測年月日 : 年月日 上記以外の場合(設置5年以上、基準適合のみ) 目視検査実施日 : 年月日	適 不適	第6条1項16号 細目告示第10号 例示基準11
26. 耐震構造	目視記録	地震の影響に対し安全な構造とすること。	適 不適	第6条1項17号 耐震告示
27. 温度計等	目視記録	比較テストを行い、記録を保管すること。 範囲内にもどすための措置 : 有・無	適 不適	第6条1項18号 告示6、例示12
28. 圧力計	目視試験記録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示 : 有・無 有効年月日の表示 : 有・無 試験年月日 : 年月日	適 不適	第6条1項19号 細目告示第7号 例示基準13
29. 安全装置	目視試験記録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管 吹始圧 : 設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧 : 設定圧力の80%以上 作動テスト年月日 : 年月日	適 不適	第6条1項19号 細目告示第7号 の2 例示基準13
30. 放出管	目視測定	開口部の位置 : 地盤面5m又は貯槽頂部2m以上 開口部レインキャップ : 有・無	適 不適	第6条1項20号 例示基準14
31. 電気設備	目視記録	防爆性能が適切であるか	適 不適	第1項第26号

ガス名 CNG

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
32. 保安電力	目 視 試 験 記 錄	保安電力の種類： 定期検査の記録：有・無	適 不適	第6条1項27号 細目告示第9条 例示基準20
33. 温度上昇 防止装置	目 視 試 験 記 錄	対象～可燃性ガス貯槽 水源の確保：必要量 m ³ 実測 m ³ 散水量：適・不適	適 不適	第6条1項32号 例示基準24
34. 静電気 除去装置	目 視 試 験	接地抵抗値：貯槽 総合 100 ポンディング：有・無 損傷の有無、接続の状況：適・否	適 不適	第6条1項38号 例示基準30
35. 通報設備	目 視	通報設備の種類： 作動状況：適・否	適 不適	第6条1項40号 例示基準32
36. バルブ 誤操作 防止措置	目 視	バルブの開閉方向の明示：有・無 配管内の流体名・方向の明示：有・無 安全弁元バルブの封印等：有・無 適切な足場、照度の確保：有・無	適 不適	第6条1項41号 例示基準33

(2) ディスペンサー等

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1. 設備距離	測定 目視	公道まで：法定 5m 実測 m	適 不適	第7条2項4号
2. 防護さく	測定 目視	車と貯槽との距離：法定 3m 実測 m 防護さく：有・無	適 不適	第7条2項17号
3. 保安設備 等	目 視 記 錄	充填カプラの構造：適・否 セーフティカップリング：有・無 過充填防止装置：有・無	適 不適	第7条2項9、19号 例示基準55,59
4. 屋根	目 視 記 錄	屋根：有・無 屋根の材料：	適 不適	第7条2項16号
参考		ディスペンサー 製作所： W 台、S 台		

5. 気密試験結果

漏洩：有・無	処置：済・否 (処置者：)
漏洩箇所：	

ガス名 CNG

6. 指示·指導事項